

大 正 年 茨 城 縣 統 計 書 第 四 編 目 錄

警 察

	頁
第 一 警察區劃	1
第 二 警察職員	3
第 三 警察官勤續年數及巡查俸給別	4
第 四 警察官年齡別	7
第 五 巡查教育程度	8
第 六 警察官任免及死亡	8
第 七 警察上褒賞人員	8
第 八 巡查懲罰人員	9
第 九 巡查退隱料遺族扶助料及諸給與	10
第 一〇 警察上死傷病人員	11
第 一 一 救 護	11
第 一 二 救護署別	12
第 一 三 保 護	13
第 一 四 精神病者	15
第 一 五 放火犯年齡教育其他因由別	18
第 一 六 自殺者月別及手段	19
第 一 七 自殺者年齡及因由別	20
第 一 八 被殺害者因由別累年比較	23
第 一 九 天災其他ノ事故ニテ死セシ者ノ因由別 累年比較	24
第 二〇 火 災	24
第 二 一 火災月別	26
第 二 二 火災ノ因由別度數累年比較	27
第 二 三 火防組及水防組	28
第 二 四 盜 難	30
第 二 五 盜難月別	31
第 二 六 盜難ニ罹リシ財產	31
第 二 七 脏物發見因由	32
第 二 八 脏物發見因田畝署別	33
第 二 九 告訴告發	35
第 三〇 犯罪檢舉人員	37

第 三 一 犯罪件數及檢舉件數	40
第 三 二 警察犯諸規則違反人員	44
第 三 三 行政執行法處分	45
第 三 四 刑ノ執行猶豫	47
第 三 五 微罪不檢舉	49
第 三 六 假出獄及假出塲	51
第 三 七 禁錮以上ノ刑ヲ受ケタル者	52
第 三 八 政談集會	52
第 三 九 銃砲彈藥ノ賣買	53
第 四〇 狩獵免狀	55
第 四 一 宿泊人累年比較	56
第 四 二 宿泊人月別	56
第 四 三 諸興行日數月別	58
第 四 四 諸興行日數署別	59
第 四 五 取締ニ關スル諸營業	61
第 四 六 戶口調査	75
第 四 七 警 察 費	77

衛 生

第 四 八 人口及戶數郡市別	79
第 四 九 病院、醫師、藥劑師、藥種商、製藥者及產婆	80
第 五〇 醫師、藥劑師、產婆資格別	80
第 五 一 鍼治、灸治、入齒、齒拔、口中治療及整骨	82
第 五 二 產婆及鍼治、灸治試驗成績	83
第 五 三 看護婦試驗成績及年末現在	83
第 五 四 賣 藥	84
第 五 五 血清ノ設備	84
第 五 六 隔離病舍	85
第 五 七 衛生組合	86
第 五 八 檢疫及豫防委員	86
第 五 九 本籍人生產及現在人死產	87
第 六〇 現在人ノ出產中死產ノ懷孕月別	88
第 六 一 本籍人死亡	88

第 六 二	現住人死亡累年比較	89
第 六 三	現住人死亡原因月別	90
第 六 四	現住人死亡原因年齡別	93
第 六 五	九種傳染病患者及死亡者	100
第 六 六	腸窒扶斯患者月別	100
第 六 七	腸窒扶斯患者年齡別	101
第 六 八	腸窒扶斯患者職業別	103
第 六 九	赤痢患者月別	103
第 七 〇	赤痢患者年齡別	105
第 七 一	赤痢患者職業別	106
第 七 二	赤痢患者治療日數	107
第 七 三	赤痢各戶別	107
第 七 四	實布埜里亞患者月別	108
第 七 五	實布埜里亞患者治療成績	109
第 七 六	實布埜里亞患者年齡別	110
第 七 七	バラチフス患者月別	111
第 七 八	バラチフス患者年齡別	112
第 七 九	バラチフス患者職業職	113
第 八 〇	發疹窒扶斯患者月別	114

第 八 一	發疹窒扶斯患者年齡別	115
第 八 二	發疹窒扶斯患者職業別	116
第 八 三	種痘人員	117
第 八 四	検査壯丁花柳病及トラホーム患者	118
第 八 五	市町村立小學校兒童トラホーム患者	118
第 八 六	縣立學校生徒トラホーム患者	119
第 八 七	營業者及工場製造所從業者トラホーム患者	120
第 八 八	貸座敷及娼妓	121
第 八 九	娼妓検査成績	121
第 九 〇	屠畜検査成績	121
第 九 一	衛生講話會及幻燈會	123
第 九 二	堀井構造	124
第 九 三	衛生ニ關スル取締規則違犯	125
第 九 四	衛生費累年比較	126
第 九 五	縣衛生及病院費	126
第 九 六	郡衛生及病院費	128
第 九 七	市町村衛生費	129